

夏冬両用の画期的なLowE断熱ガラスフィルム LEP

新発売

一枚の窓断熱フィルムが夏冬暖冷房費の節減に貢献します

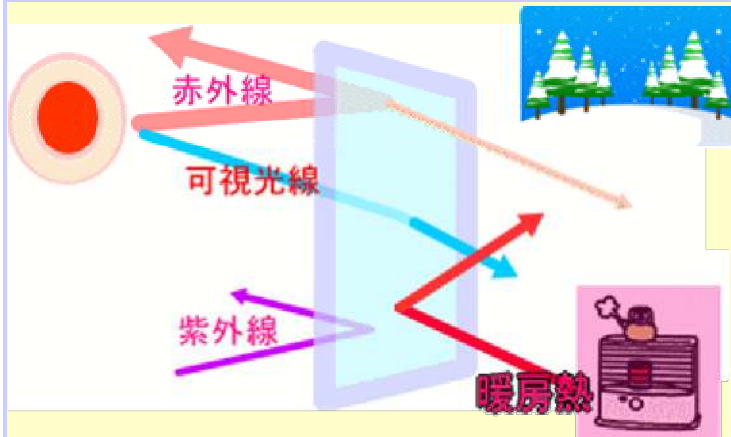
夏 冬
両用LowE断熱フィルム

LEP35

**複層ガラスの断熱性能と
夏エアコンを節電する遮熱性能
両方の性能を一枚のフィルムが実現**

熱貫流率4.0以下の高断熱ガラスフィルムはLEPだけです。

超高断熱 LowE フィルム 熱線を熱源に返す 原理(特許申請中)
夏は遮熱、冬は断熱に効果最大 ソルーシア社(CP-USA)製



LEP35
透明度 36%
遮蔽係数 0.33
熱貫流率 3.6

LEP70
透明度 69%
遮蔽係数 0.63
熱貫流率 3.8



”放射熱”を、その熱源に返す特殊製法(特許申請中)
遮蔽係数、特にLEP35:0.33は、非常に高い節電効果
熱貫流率:4.0未満は、史上最高の断熱性能
LEP70は高価です。

単板ガラスが複層並みの断熱ガラスに、2層・後付けガラス等に適用すれば、3層ガラスに変身します。
今、窓ガラスの省エネ・節電の手段として、最も注目を集めているガラスフィルムです。

LEP 2種 仕様 (建材試験センター試験結果) と 特徴

グレード	LEP35	LEP70	大きな違いは可視光線透過率
可視光線透過率%	36.2	69.0	最も実用的で効率最大化を意図したLEP35 透明度を保ち高断熱を追求したLEP70
日射透過率%	23.1	48.6	透過日射熱の内、可視光線の割合が非常に大きい。
日射反射率%	47.8	20.0	赤外線を大幅にカットする割りに、ガラスがあまり熱くなりません。
日射吸収率%	29.1	31.4	日射吸収率を非常に低く抑え、熱割れの危険を極小にしています。
紫外線遮断率%	99	98.7	UVはほぼ完璧に遮断、これは他社品も同じです。
遮蔽係数	0.33	0.63	遮へい係数 0.33 は、非常に高い遮熱性能を表しています。 透明度が高いフィルムでは、理論的に不可能な値なのです。
熱貫流率 W/m ² K	3.6	3.8	熱貫流率 4.0以下 は、世界最良レベル(私どもの知る限り)。
放射率 E	0.07	0.125	放射率が低いほど、断熱性能に優れています。
ハードコート	有り		ハードコート付きです、他社品にはハードコート無しがあります。
施工作業性	初期粘着弱 施工後強粘着		施工作業性は良好、養生期間中の凍結は避ける必要があります。 他社品には施工が難しいものもあります。
ロールサイズ	1524mm幅 x 30.46M長さ		

Low-Eは、Low Emissivity:放射率が低い意味です。
熱貫流率4.0以下は、他に例を見ない高性能断熱フィルムなのです。
夏は日射熱を外側に反射し、冬は暖房熱を内側に反射し、省エネ・節電効果15%以上が期待できます。

主要特性の比較 (建材試験センター試験結果)

比較対象自社グレード	放射率	熱貫流率	遮蔽係数	透明度
LowE断熱フィルム LEP35	0.07	3.6	0.33	36.2
熱線反射フィルム RS35A	0.76	5.7	0.48	39.0
LowE断熱フィルム LEP70	0.125	3.8	0.63	69.0
透明断熱フィルム SL7480	0.76	5.7	0.68	77.3